



久慈学区コミュニティ推進会
発行責任者：石川 善憲
編集：調査広報部
日立市みなと町3-10
Tel:0294-52-0165 Fax: 53-9144
e-mail c-kuji@net1.jway.ne.jp
http://www.net1.jway.ne.jp/c-kuji/

ふれあいの町

ぬくもりの町

やさしさの町

コロナ禍の長いトンネルが続きましたが、ようやく前方に光が見えてきた感があります。停滞した3年間を取り戻し、町民の力を結集して明るく元気な町にしていきたいと思ひます。
大震災から12年が経ち、災害の記憶が薄れてきていることは確かですが、反対に災害への具体的な対策が着実に進んできていることを感じています。
防潮堤、河川改修、避難所の整備等、物資面の充実が進んでいま...



新年度に向けて

久慈学区コミュニティ推進会会長 石川善憲

掲示板
☆お問合せ☆
久慈交流センター
TEL 52-0165
FAX 53-9144

<5月・6月の行事予定>

Table with 3 columns: 月日, 行事名, 場所. Includes events like おもちゃライブラリー, ふれあい健康クラブ, 吹上生きいきサロン, はまなすサロン, 一本松サロン.

※各行事については中止または変更になる場合があります。

こどもの陶芸教室
日 時：令和5年7月9日(日) 10時~11時30分
場 所：久慈交流センター
対 象：小学生
参加料：100円(当日)
持ち物：上履き、水筒、ハンカチ
申込み：6月6日(火)10:00~ 先着30名

健康運動教室 参加者募集
日 程：6/2、6/16、7/7、7/21、8/4、9/1、9/15、10/6、10/20、11/17(全10回)
時 間：10時~11時30分
場 所：久慈交流センター多目的ホール、久慈交流センター北側広場
参加費：全10回で1,000円(初回に頂きます)
持ち物：室内用運動靴、飲み物、タオル、運動ができる服装
申込み：5月12日(金)10時~ 先着20名

<自主グループ会員募集>
フラオカヴァイルーキニ
日 時：木曜日(月3回) 16:20~17:20
対 象：4才から小学3年生
場 所：久慈交流センター
会 費：3,500円
連 絡 先：小澤 TEL090-2499-1234

第55回 南部地区文化祭
日 時：6月10日(土)・11日(日) 午前10時~午後4時
場 所：久慈交流センター
さつき展・作品展(小・幼・保)・写真展・芸能発表・ハーモニカ演奏会・ハワイアンバンド演奏会 など

あいがとうございます
泉町 11-1 区様より常会解散に伴う会計処理上の残金 4,848円を寄付していただきました。久慈地区社会福祉協議会の活動資金にしたいと思います。

防犯灯新設希望 受け付けます
市に提出する「防犯灯新規設置要望書」が交流センターにあります。令和5年5月31日までに交流センターまでご連絡ください。
※設置は無料ですが、設置件数に制限があり、設置基準を満たす必要があります。

グループホーム久慈浜様から心のこもった手づくりの紙箱を寄付していただきました。一つ一つ丁寧に折られていて温かみを感じています。有難く使わせていただいております。

令和4年度 清掃功労者表彰

宇佐美賢一様

不法投棄物回収や花壇の整備など、久慈町の環境美化活動に長年にわたりご尽力され大きく貢献されました。



4月22日(土)久慈小学校体育館を会場に久慈学区コミュニティ推進会総会が行われました。ご来賓に日立市公営企業管理者の岡部和彦様、日立市立久慈小学校 木村央校長、日立市立久慈中学校 藤田剛校長が出席されました。

<読者投稿>
久慈浜俳句会
庭先の藪移り来る初音かな
啓塾やマスクを取りて大欠伸
いつぞやの初音の出会いひま一度
どこまでも春夕焼に染まるまで
四阿の溢る談笑梅真白
菜の花やB29の落ちし跡

吉田 節郎
根本きよ志
鶴岡みち子
稲垣 初江
萩原 覚
鶴岡しげを

久慈学区コミュニティ推進会 役員・各部長・協力員
《役員》(敬省略 \*印新任)
会 長 石川 善憲
副 会 長 小松 茂一
副 会 長 今橋とみ子
副 会 長 菊池 久江
監 事 高 典夫
監 事 小 浩一
監 事 泉 浩一
事 務 長 三 真弓
《各部会》
防災防犯部長 富田 健蔵
環境整備部長 宇佐美 賢一
調査広報部長 河村 昌子
文化教養部長 寺西 悦子
健康推進部長 今橋とみ子
青少年育成部長 鳴志田 征央
地域福祉部長 \* 菊池 久江
《久慈交流センター協力員》
会 長 完治 \* 宇佐美 賢一
副 会 長 鈴木 丈介
副 会 長 飛田 道子
副 会 長 長澤 康子
副 会 長 芳賀 靖子
副 会 長 大内美代子
副 会 長 松井 和子
《地域福祉推進員》
浅田 芳子
松井 和子



地域福祉部

ふくしの広場



くじ保育園

花壇に色とりどりの花が咲く中、新入園児14名を迎え59名で新年度がスタートしました。「園児一人一人が安心感と信頼感を持つていろいろな活動に取り組み、体験を十分に積み重ねていく」「様々な活動を通して、心身の調和的な発達と人間性豊かな子」の育成を保育目標に、子どもたちの健やかな成長を願い、一人一人の心に寄り添いながら、職員一同丁寧な保育に努めていきたいと考えております。

久慈中学校

新入生103名を迎え、全校生徒293名で令和5年度がスタートしました。今年度は「改革意欲をもち、本気で関わる」を教職員のスローガンとし「一人一人が輝き、元気があふれる学校」を目指して、全力で取り組んで参ります。

対面でのPTA総会が4年ぶりに開催されるなど、今までコロナ禍のため簡略化してしか行えなかった事が少しずつ元に戻りつつあります。5月以降は、さらに様々な行事をどんな形で開催するかも含めて学校でも十分吟味しながら検討して参ります。中には、地域の皆様に協力頂いていた行事も数多くあったことと思えます。地域の皆様のご意見も参考にしながら、以前の手法に囚われない新しい運営の仕方を一緒に模索していこうと思えます。

福祉部講演会

二月三日

コロナ禍により四年ぶりに、講師として小角和子保健師を招き、スタッフを含め約三十名で開催しました。

講演内容は、この時期に相応しい「寒い季節の感染症」です。今年に入り猛威を振るっているインフルエンザやノロウイルスによる食中毒での予防対策など、そして新型コロナウイルスの経緯と実例を挙げての様々な対応についての説明がありました。

最後に、この時期に交通事故より多い入浴事故防止について注意点を説明があり、どれも日頃より関心のある内容で真剣に聞き入っていました。



自分のために生かします

あつちの会

二月八日

高齢者の誕生日プレゼントを手作りしているボランティアグループです。毎月第二水曜日の九時三十分から吹上荘内で活動しています。今年度は診察券も入るお薬手帳入れです。

多様性を考えて五種類の模様生地で作っています。毎年何が使い易く、もたらして嬉しいかと話し合っているそうです。「ひとさまに差し上げる物だからこそ丁寧に！」とアイロンかけ、仕上げ縫い、そして本縫いのミシンかけは、細かい箇所も良く見える様にと眼鏡をかけて真っ直ぐに仕上げられています。時にはほどいて縫い直すこともあるそうです。

久慈小学校

新1年生49名を迎え、全校児童264名、教職員35名で令和5年度がスタートしました。今年度は「自分も友達も大切に、いいところを発揮し合える学校づくり」の実現を目指して「未来に向かって、たくましく生きる 久慈浜っ子の育成」に、職員一丸となって取り組んで参ります。今年度も地域との連携を大切にしていきたいと思っております。ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

日立商業高等学校

日頃より本校の教育活動にご協力をいただき、誠にありがとうございます。新入生201名を迎え、全校生徒588名で新年度がスタートしました。昨年度は地域の皆様に支えられ、創立60周年を迎えることができました。地域との連携の一環として、サッカー部は日立港まつりでのボランティア活動を行い、昨年度には久慈学区コミュニティ推進会の推薦を頂き、日立市青少年育成推進会議より善行青少年として表彰されました。野球部は久慈小PTAの当番の方とともに久慈小学校の登校の安全を守るため立哨を行い、夏の大会前には久慈小児童さんから夏の県大会の必勝祈願のための千羽鶴をいただきました。また、校紀委員・清美委員・JRCは月に1回、BRT停留所の清掃活動を行っています。

ふれあい健康クラブ

二月二十四日

春の声が間近に聞こえる暖かい日、一足早くひな祭りが開かれました。進行役は、社会福祉協議会のお二人です。

まずは、リハビリ運動です。最初は脳の活性化を図った手指曲げの反復や左右逆順の動作を歌に併せて行いました。次は、体の方です。ハンカチを補助に使い、腕を背に回して関節や筋肉の柔軟性を高めました。本番は、ひな祭りゲームです。一面に雛人形の絵が描かれた十の小箱を使います。その底に棒が通されて『起上り小法師』のようになっています。それを机に置き、端からゴルフボールを転がして箱に入り起き上がったら10点から50点の点数になります。二つのチームに分かれて楽しみました。コントロールを付けやすいソフトな転がしでは箱が立ちません。

「もっと力をいれろ」などの声飛び交い、盛り上がりました。最後は、全員で「おぼろ月夜」「うれしいひな祭り」を歌って解散となりました。



ナイスショット!

心をこめて、一針一針  
く今までに巾着袋、エコバッグ、マスクケース、スカーフなどその時々々に合った物を手作りして喜ばれています。裁縫に興味のある方で、一緒に活動して下さる方を募集中です。

久慈・コム第100号 発行を記念して

祝100号

17年前から「久慈・コム」でした

平成18年5月1日発行の創刊号から本号で100号を迎えました。途中、施設が大被害を受けた東日本大震災で通常発行ができなかった時期がありますが、それでも5回の増刊号発行という形で情報提供を続けた歴史があります。

創刊号には、久慈交流センター設立の経緯として次のような記述があります。「茨城国体から三十年を経過し、名称も変わり『明るく住みよいまちをつくる会』が『コミュニティ推進会』に、管理運営を司る『コミュニティセンター』が『交流センター』となり、公民館がなくなり、社会福祉協議会も一体化の中に入ろうとしております。」

この創刊号の前に、43号続いた「明住会たより」(平成6年7月〜18年3月)があり、公民館時代から188号(平成18年3月)まで続いた「灯台」(公民館たより)がありました。福祉関係も「福祉だより」が独立したものであるとして発行されていきました。「久慈・コム」は、それらを引き継いで発行されるようになりました。

100号を迎え、創刊号からの「皆様方の広報誌」を引き継ぎ、学区の人に親しまれる広報誌を目指したいと思います。皆様方のさらなるご愛読、ご協力をお願いします。

「明住会たより」「久慈・コム」はデジタルデータ化され、交流センターのコンピュータで閲覧可能です。平成6年から約30年間の久慈学区コミュニティの歴史を振り返ることが出来ますので、ご希望の方はセンター職員にお声かけください。

久慈コム 創刊号 平成18年5月1日発行. Includes a QR code and contact information for the久慈交流センター.

久慈・コム 令和4年度も優秀賞を受賞!! 久慈交流センターホームページへアクセスできます

賞状 久慈学区コミュニティ推進会 令和4年度 優秀賞を受賞!!